

広報 ふじ

NO. 113

47.6.5 発行

発行・富士市役所

富士市永田61-1

編集・企画調整部広報課

【毎月5日と25日発行】



南町公園の噴水が完成しました

市の財政を公表します

富士市公表第1号

地方自治法第243条の3第1項の規定に基づく「富士市財政事情の公表に関する条例」の定めるところにより、昭和46年10月1日から昭和47年3月31日までの富士市の財政事情を次のように公表いたします。

昭和47年6月1日

富士市長 渡辺彦太郎

一般会計

昭和46年度の一般会計当初予算は72億円でしたが、17億5581万円が追加補正され、最終予算は90億4419万円になりました。追加補正された主なものは次のとおりです。

9月議会で補正されたのは7億9500万円。この内訳は、民生費が1324万円で、第1保育園の増改築や用地取得を1060万円で行ないました。

衛生費は3464万

円で、第2清掃作業所の焼却炉補修やブルドーザー借上げなどゴミやし尿の処理に130万円を追加しました。公害病認定にともなう呼吸器疾患の調査を90万円で行ないました。このほか、下水道事業特別会計へ1204万円、病院事業会計へ800万円の繰出しを行ないました。

農林水産業費5230万円で、土地改良に638万円を追加し、農免道路の整備を1442万円で行ないました。また、大富士地区農業構造改善事業に2440万円を補助しました。

土木費は1億9038万円で、道路維持費に4870万円、新設改良費に1億74万円、河川の改良に3115万円を追加しました。

教育費は7316万円で、小学校費に1708万円、中学校費に828万円、高等学校費に745万円、幼稚園費に3257万円をそれぞれ追加しました。

12月議会では、職員の給与調整のために1億1339万円。社会福祉センター建設費に4889万円。第1清掃作業所の焼却炉増設工事などに7921万円、身延線複線化に伴う踏切道負担金に3000万円、街路事業費に4056万円。教育関係の人件費や伝法小学校屋内運動場新築工事費などに1億1337万円を補正しました。しかし、予備費で3億5827万円を減額したので、3月議会の補正額は3億477万円でした。

3月議会では、田子の浦港公害防止事業貸付金に4億940万円をおもに5億6612万円を補正しました。

こうした追加補正の財源として市税5億4995万円、国庫支出金4092万円、県支出金8814万円、繰越金2億3545万円、市債7億8320万円などをあてました。なお、田子の浦港公害防止事業貸付金の4億940万円は、市債をあてました。

昭和46年度一般会計

歳入			歳出		
(単位万円)					
款	予算現額	収入済額	款	予算現額A	支出済額B
市税	514.495	521.264	1、議会費	9.709	9.411
地方譲与税	1.000	708	2、総務費	124.786	118.659
娯楽施設利用税交付金	280	305	3、民生費	82.669	69.461
自動車取得税交付金	8.300	5.534	4、衛生費	135.453	78.839
地方交付税	12.423	12.423	5、労働費	5.596	5.114
交通安全対策特別交付金	889	889	6、農林水産業費	37.221	28.778
分担金及び負担金	2.768	2.733	7、商工費	15.783	15.384
使用料及び手数料	19.022	19.132	8、土木費	208.825	127.539
国庫支出金	71.112	53.826	9、消防費	26.582	23.929
県支出金	22.119	8.922	10、教育費	162.261	141.174
財産収入	10.337	8.863	11、災害復旧費	742	445
寄附金	3.640	3.631	12、公債費	70.919	70.155
繰入金	1.702	10	13、諸支出金	50	50
繰越金	28.546	28.546	14、予備費	23.823	0
諸収入	81.141	54.290			
市債	125.610	11.850			
自動車重量譲与税	1.035	0			
歳入合計	904.419	732.926	歳出合計	904.419	688.938

特別会計

特別会計は、育英奨学事業が廃止され17会計になりました。

昭和46年度の17会計の3月末日までの執行状況は、歳入が14億7140万円、歳出が14億8189万円です。

なお、前年の同期と比べると、歳入で2億2933万円、歳出で4億1344万円多くなっています。

特別会計の地方債は

地方債未償還額 (単位万円)

区 分	未償還額
下水道事業	19.826
青島津田土地区画整理事業	1.200
魚市場事業	646
公共用地先行取得事業	67.345
駐車場事業	2.600
計	91.617

各特別会計の執行状況

	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険事業	85.734	88.287	67.606
下水道事業	27.342	12.934	15.189
青島、津田土地区画整理事業	3.858	3.321	2.785
依田原新田土地区画整理事業	25.200	5.444	5.528
学校給食事業	3.993	4.019	3.772
魚市場事業	414	432	182
内山	3.554	2.796	2.287
旧吉原	150	111	90
旧島田	160	104	20
旧今泉	3.115	2.809	25
旧今泉・一色・神戸・今宮	720	720	7
旧元吉原	228	190	34
旧須津	200	214	17
旧吉永	907	788	386
旧原田	643	541	13
公共用地先行取得事業	60.990	22.390	48.513
駐車場事業	1.910	2.040	1.735
計	219.118	147.140	148.189

国民年金や厚生年金からも融資を

市では、いろいろな事業をすすめていくうえで、社会保険や国民年金保険などから融資を受けています。昭和46年度の特別地方債のうち、これらから融資を受けたのは次のとおりです。

国民年金保険から第1保育園建設に750

万円、社会福祉センター建設に4400万円の特別融資を受けています。また、厚生年金保険から第1清掃作業所のゴミ処理施設の整備に6600万円、ゴミ運搬車購入に380万円の還元融資を受けています。

地方債未償還額 (単位万円)

区 分	未償還額
大倉省資金運用部	136.832
郵政省簡易保険局	98.634
公営企業金融公庫	3.216
市中銀行	72.832
農業協同組合	3.240
保険会社	1.901
共済組合	7.834
その他	52.892
計	377.381

46年度市税の収入 (単位万円)

税 目	予算額	収入済額
市民税	177.174	180.386
固定資産税	235.801	238.129
軽自動車税	4.566	4.635
市たばこ消費税	29.715	30.024
電気ガス税	47.130	47.419
木材引取税	70	87
都市計画税	20.039	20.583
計	514.495	521.26.

市税負担の状況は

市民税

1人当り 9.282円 (8.489円)
1世帯当り 33.862円 (31.160円)

固定資産税

1人当り 12.354円 (9.841円)
1世帯当り 45.066円 (36.124円)

軽自動車税

1人当り 239円 (217円)
1世帯当り 873円 (797円)

市たばこ消費税

1人当り 1.557円 (1.424円)
1世帯当り 5.679円 (5.228円)

電気ガス税

1人当り 2.469円 (2.265円)
1世帯当り 9.008円 (8.314円)

木材引取税

1人当り 4円 (1円)
1世帯当り 13円 (4円)

都市計画税

1人当り 1.050円 (796円)
1世帯当り 3.830円 (2.923円)

※カソコ内は、昭和45年度

市の財産の保有状況は



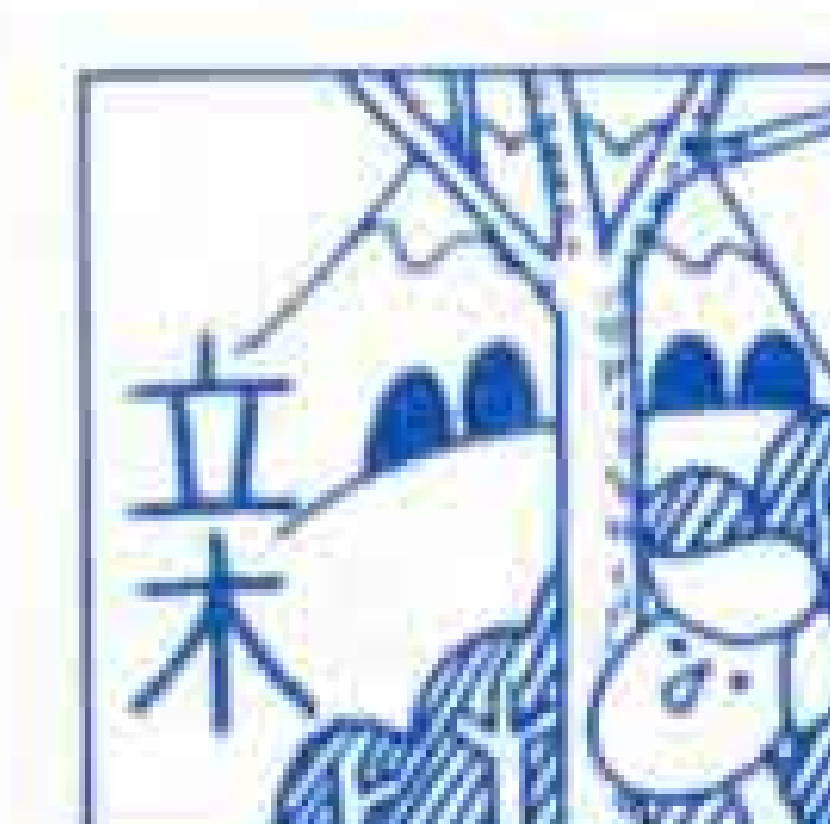
1.358万円



4.663万m²



30万m²



13万m³



156台

一般会計の地方債は

市税収入は

昭和46年工業出荷額

4568億360万円で県下1に

工業統計調査を昨年12月31日現在で実施しましたが、このほど調査結果がまとまりました。

国内景気の不振を反映し出荷額の減つたものや公害防止などのため操業短縮で伸びなやんだ産業も見られましたが、ほとんどの産業が順調な伸びを示しましたこの結果、昨年1年間の富士市の工業出荷額は、4568億360万円で、45年の3742億6343万円を大幅に上回り、県下第1位となりました。

県下の出荷額上位5市

	46年出荷額	事業所数	従業者数
富士市	4568億円	1168	45,529人
浜松市	4492億円	4389	79,720人
清水市	3415億円	1189	37,234人
静岡市	2420億円	4314	44,206人
沼津市	1997億円	1467	29,843人
県総計	3兆540億円	25672	454,021人

産業別に出荷額を見ると依然として紙・パルプが中心となり1812億955万円で

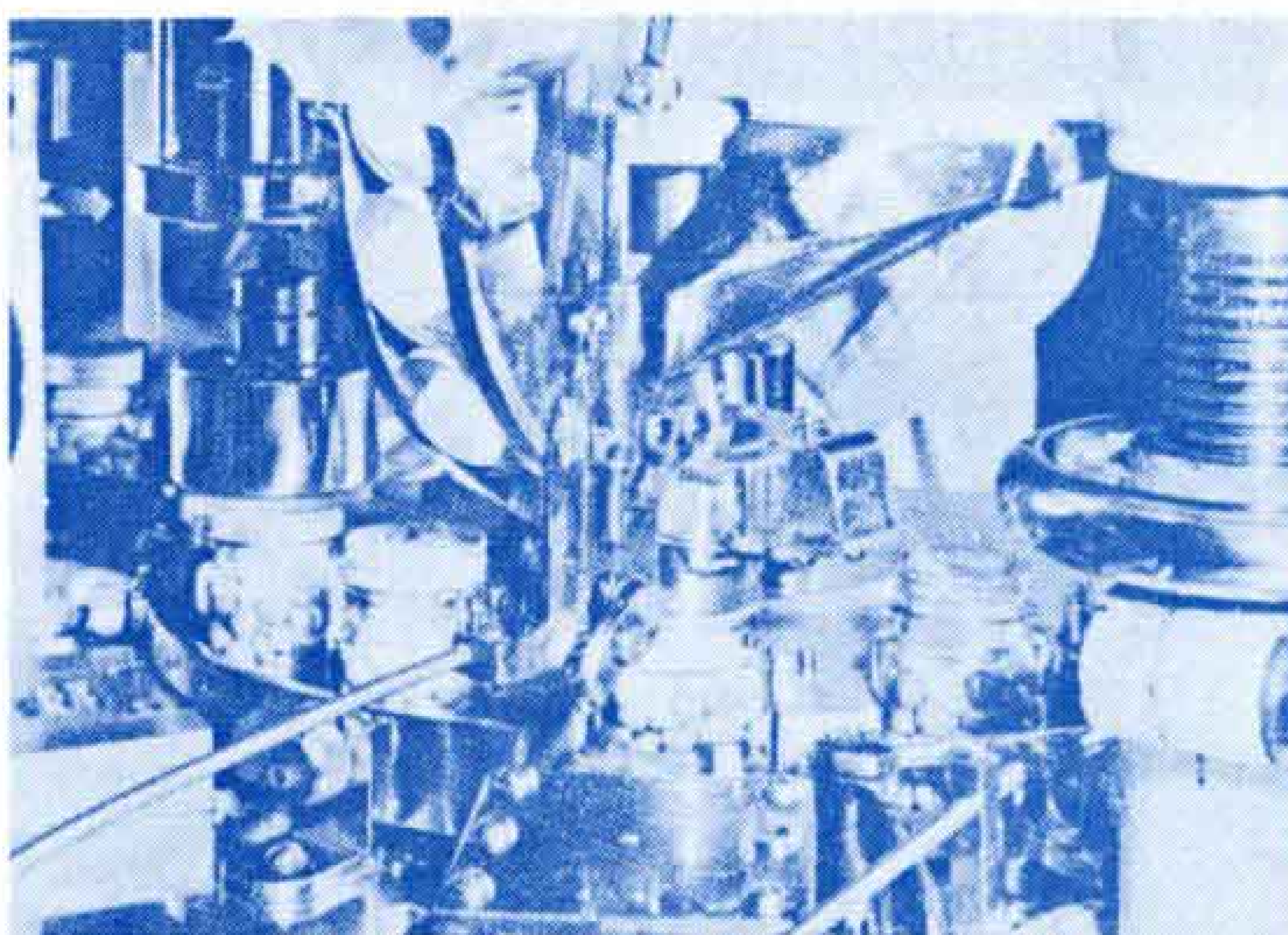
全体の39%を占めています。しかし、全体を占める割合は合併時の昭和41年の51%に比べ大幅に低下しています。

これに対し、他の産業の占める割合は年ごとに増加しています。化学工業は954億9471万円で20.9%（昭和41年16.8%）輸送機械は761億6125万円で16.7%（13.2%）、電気機械は603億9468万円で13.2%（6.3%）、食料品は134億8281万円で2.9%（2.8%）などが主なものです。

事業所数は、一部紙加工業の廃業などもありましたが、1168事業所と前年より15事業所増加しました。41年の1061事業所に対しては、107事業所の増加と順調に増えています。

従業者数は、45529人

で前年より1845人増加しました。41年は3647人でしたので、9053人の増加となっています。これを1事業所当りで見ると約39人となり41年が約34人でしたので、ここ数年間に各事業所が大型化されているものと思われます。



【化学工業の出荷額が大幅に伸びる】

道路のはしを歩いていた歩行者が前から来た車にはねられて死亡。歩道があれば防くことができたのに—こんな事故を防ぎ、歩行者の安全を確保するため交通量の多い道路へ歩道を設置しています。今年、国道1号線と国道139号線の一部に歩道が設置されることになり、さきごろ建設省から計画が示されました。なお、歩道設置個所は次のとおりです。

国道に歩道を設置

建設省から3カ所の歩道計画が...

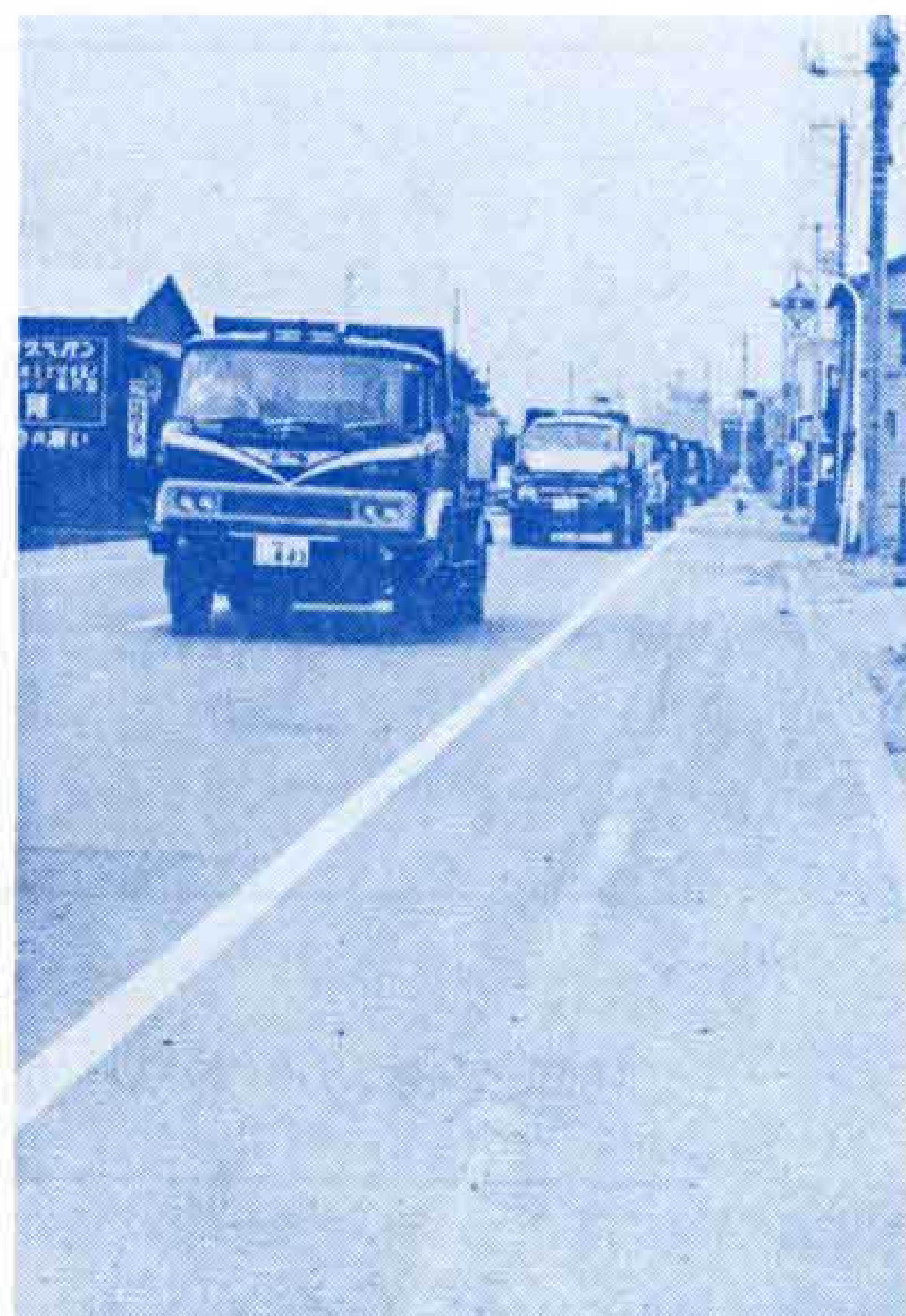
■国道139号線

県道御殿場富士線の交差点（伝法橋東側信号機）から西へ1600m、厚原西愛鷹神社付近まで。歩道幅は1.5mで、北側に設置。ブロックで車道と区分します。



■国道1号線

臨港富士線交差点（岳鉄踏切西側）から西へ800m、旧消防第2分団跡付近まで歩道幅は2mで、道路より一段高く両側に設置します。



■国道1号線

県道御殿場富士線交差点（市立富士中央病院南側）から西へ500m。旧東海道出口付近まで。

旧富士警察署前から西へ700m、岩山石油スタンド前まで。

歩道幅は1.2mで道路より一段高く両側に設置します。

伝染病、食中毒の多発期です 食品の管理に十分の注意を

毎年保健所に届出される食中毒や伝染病患者は、全国で約5万人ぐらいいます。1年のうちでも高温、多湿で細菌の繁殖が盛んになる梅雨期から夏、初秋にかけて多く発生しています。市内でさきごろ伝染病が発生し19人を隔離しました。

私たちの周囲はすべて細菌のすみかとも云え、伝染病、食中毒が発生する要素は十分あります。なにげなく菓子をつまんでいる指先にも数えきれない細菌が付着し、髪や衣服は勿論ほうちよう、まな板、ふきんなど台所用品も細菌にとつてはよいすみかとなります。肉眼で見えないし、よほどのことがない限り、臭いも

味も変化しません。見かけだけでない内容の清潔と衛生が大切です。

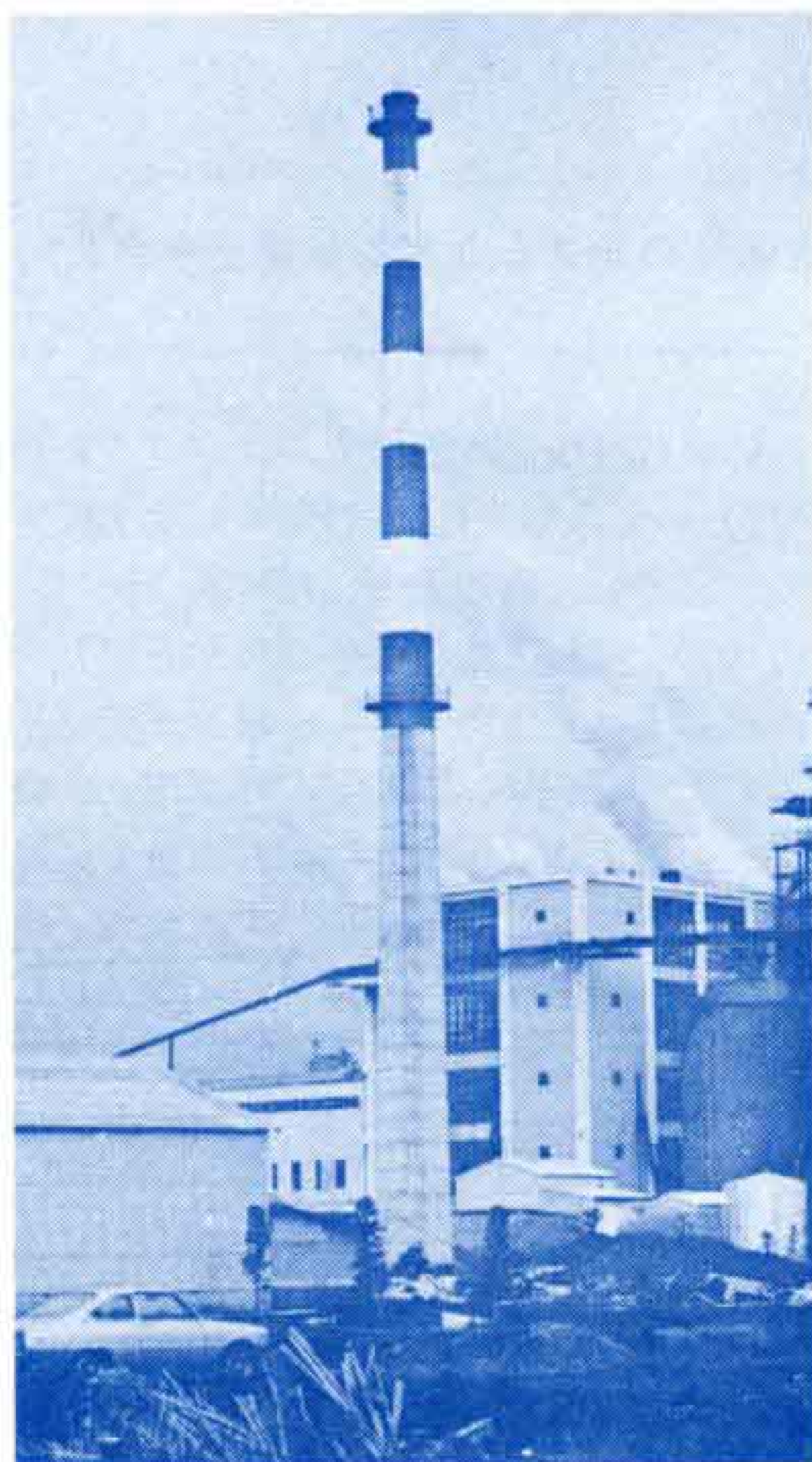
また、現代社会は、食品などの流通機構が非常に複雑な仕組みになっています。食品が人の口に入るまでには、多くの人の手や機械などを通ります。採取、製造加工、使用、調理、貯蔵、運搬、陳列、消費と短いものでも数日、長いものは数カ月たつてようやく消費者にわたります。各段階で衛生保持に十分注意することは当然ですが、消費者も食品の保存や料理などを清潔で衛生的に行なうことは食中毒の予防上大切なことです。

いくら、おいしい食べ物も一夜越すと



味も変り腐敗するかも知れません。料理は早く食べるように心掛けましょう。冷蔵庫を過信するのもよくありません。冷蔵庫は細菌の繁殖速度を遅らすだけの働きです。

みなさん、家族が健康で楽しく過せるよう食品衛生には十分注意してください



大気汚染の防止に一役

原田地区の8社が共同ボイラー建設

富士市は、大気汚染防止のうち、イオウ化合物の減少対策として①汚染物質の除去（燃料中のイオウ分を低下させる）②汚染源の縮小（煙源の集中化）③汚染物質の希釈（煙突の正常化）などの方法を指導しています。

このうち、重油中のイオウ分減少については、昭和45年から各企業に強い行政指導を行ない、現在、大手企業1.7ㇿ以下、中小企業2.0ㇿ以下を目標にしています。煙突の正常化についても、ほとんどの企業の煙源が改善されてきています。

特に、中企煙群の集合については、すでに依田原地区の富士家庭紙共同組合が4社共同のボイラーを稼働させ、その効果をあげていますが、このたび、原田地

区の泉製紙、今泉紙業、大川製紙、豊年製紙、和興製紙、平和製紙、三浦製紙、高尾製紙の8社が「岳陽共同組合」を設立。共同ボイラーが5月20日に完成しました。

この結果、各企業の小型ボイラーを廃止したので、使用燃料はいままで日量25トンだったのが20トンですみ、使用重油の低イオウ化、安くて安定した蒸気の供給など、一石数鳥の目的が達成できます。

市でもこの事業をおおいに奨励し、自己借入金に対して利子補給を行ないました。今後も中小煙源の共同化を指導していく計画です。なお、現在、今泉地区の11社による共同化の指導を進めています。

アメリカシロヒトリにご注意 昨年発生した場所には今年も

アメリカシロヒトリが、鷹岡や大淵地区をのぞく全地域で発生が予想されます。昨年アメリカシロヒトリの被害を受けた木や近くに今年

も発生しますので、よく観察してください。いまなら卵か小さな幼虫ですので、

被害も少く、防止も簡単です。見つけたら、枝ごと切り取って焼却するなど防止を行なってください。



ひとこと提言

迷惑な学校からの 砂ぼこり

問

強風が吹くたびに舞い上る砂じん。私の家は吉原第一中学校の近くですが、グラウンドの砂ぼこりに悩まされています。風の強い日には洗濯物が汚れるのはもちろん、雨戸を締めておいても家の中にまで砂が入ってきます。また、外にでれば、砂が口や鼻にはいり、目も開けていられない状態もしばしばです。こうした状態に迷惑を感じているのはわたしひとりではないと思います。

グラウンドをコンクリートにするか、芝を植えるなど、砂ぼこりが舞わないようにしてください。早急に解決してもらいたいものです。(弥生町・学生)

答

学校のグラウンドからでる砂ぼこりでご迷惑をおかけして申しわけありません。

吉原一中については、さきごろ散水器を取り付けました。風の強い日などは水をまいて、できるだけご迷惑のかからないようにします。

なお、砂ぼこりの防止には散水器の設置、芝張り、薬品の散布などの方法があります。現在、富士中学校のグラウンドで芝張り、テニスコートに塩化カルシウムの散布などのテストを行なつてい



【砂ぼこりの防止に芝張りのテストなどを＝富士中＝】

ます。

テストの結果をみて、もつとも効果のあるものを採用し、他の学校にも計画的に設備を設けていく予定です。それまでの間、ご迷惑をおかけしますがご辛抱いただきたいと思います。

なお、ご意見のようにコンクリートにするのは、生徒の健康管理などに好ましくないので、この方法を採用する計画はありません。

(教育委員会管理課)

34人に市政モニターを お願いしました

任期は48年3月31日まで

昭和47年度の市政モニターが決まりました。今回は次の34名の人にモニターを依頼しました。任期は来年の3月31日までです。

市政モニターの仕事は、市政に対して建設的な意見を寄せていただくほか、アンケートに対する回答、懇談会、研究会

施設見学などに出席していただくことです。(敬称略)

浅井和子(新橋) 長島澄子(東滝川) 石川利通(天間) 市野次男(吉原上中町) 稲葉啓子(広見町4) 岩佐洋一(蓼原) 稲葉真風(富士岡波脇) 稲岡佐太郎(入山瀬) 遠藤亀雄(水戸島)

大林亘代(伝法町2) 大石和正(上和田町2) 大多和光江(吉原4) 大久保米太(宮島) 織茂光夫(浦町) 河内鉄夫(富士町) 木村順子(桜ヶ丘町) 窪田信子(富士岡波脇) 後藤武雄(平垣) 芝田由子(塔の木) 鈴木康正(藤間) 杉山篤(厚原) 田村百合子(厚原) 時田徳子(水戸島) 中沢金人(横割4) 竹内幸子(厚原中) 根上昌代(駿河台) 針道三夫(横割6) 水野あい子(蓼原) 宮原奈美絵(十兵衛) 望月猛(久沢西) 森繁(本市場) 望月照一(岩本) 山内太夫(石坂) 渡辺邑夫(西滝川)



年金を受けるときには 貨幣価値が

問

近ごろの物価の値上がりははげしく、やがて年金を受けるとき、お金の値打ちが下つて大して役立たないという人もいます。この点はどうでしょうか

答

拠出年金額は、国民の保険料負担能力や国庫負担の限度などを考え合せて、定められています。賃金、物価、生活水準などは絶えず動くので、それらに対応して年金額が調整されます。受ける国民年金がいつも立派に役立つよう、法律の定めによつて5年に1度年金額の改正が行なわれていま

す。

しかし最近の物価値上りははげしいので、国民年金の昭和44年における年金額の調整は、5年を3年に繰上げて行ないました。いつも生きた年金、生活を守る年金になるよう考えられていますので、心配はありません。時勢に遅れないようにしています。



■ 小野選手が体操指導

＝伝法小学校で＝

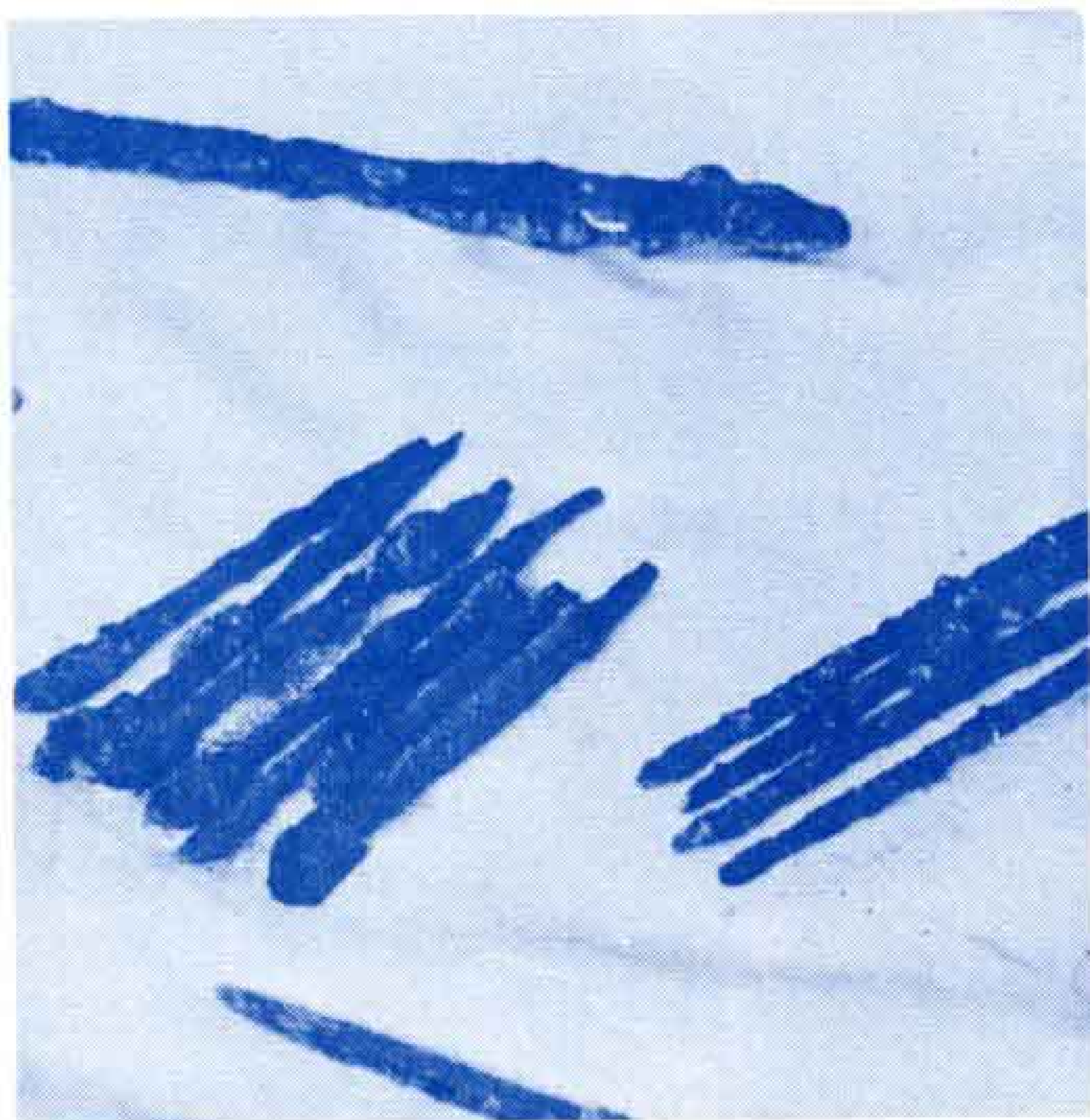
ローマや東京オリンピックなどで大活躍した体操の小野喬選手が、伝法小学校の体育館で体操指導と模範演技をひろうしました。学校では全校生徒が待ち望んでいた体育館が完成したのを記念して、室内競技の花形といわれる体操を子どもたちに知ってもらい、体位向上に役立てようで行なつたものです。

テレビでは、何度も見ている体操も目の前で見る演技は迫力抜群。ひとつひとつの演技に拍手がいつぱいでした。

■ 須津古墳から刀や金環が……

須津古墳の発掘調査をさきごろ行ないましたが、中から直刀、馬具、金環、ビーズ玉、ガラス玉などが出土しました。古墳は東名高速道路中里バスストップのすぐ北側で、中里古墳群のひとつに数えられていました。

古墳がつくられたのは、7世紀はじめごろで、たくさんの出土品などを見ると、中里古墳群のなかでも、有力な地位を占めた人の墓であつたと思われます。



■ 上手に描けたかな

雨のため1週間延期になつた「親子写生会と撮影会」は、5月21日、岩本山公園で行なわれました。会場には朝早くから、家族づれがおしかけ、豆画家やアマチュアカメラマンでいっぱい。写生や写真を取るには最高の天気でした。なお、作品は富士まつりの期間中(8月中旬)富士文化センターに展示します。

これはこまります

道路の両側に自動車が駐車しているため、半分しか使えず歩行者は道路の中央を歩く。交通事故の危険がいつぱいですね。特に見通しの悪い道路や通学路への駐車はこまつたものです。運転者のみなさん、道路へ駐車する場合は、歩行者や他の車両の通行に支障がないようにしてください。





学校自慢

強い
団結力！
みんなで
シンボル・ゾーンを

＝岩松中＝

ぼくたちの岩松中学校は、富士川と岩本山に囲まれ、富士市内の学校の中では、とにかく自然に恵まれているというのが自慢です。とくに岩本山は、夏は目のさめるような若葉、秋は紅葉とぼくたちに自然の美しさ、すばらしさを教えてくれる。

自然環境と並んで、ぼくの一番自慢したいもう一つの岩中、それは生徒会です。生徒の数が少ないということがあるかもしれないけれど、何かをやろうとする時、生徒会を中心に全員がひとつに団結できる。このまとまりの速さと、実行力はすばらしいことだと思う。

その成果のひとつにシンボル・ゾーンがある。昨年の12月に落成した新校舎を記念して、何かをしたいという気持ちが、生徒会を中心に高まり、茶の実拾いで貯めた資金をもとに生徒だけの力でシンボル・ゾーンを作った。その時は、学年の差別なく、穴を掘り、植樹をして、北門の南にある

空地120平方メートルに今ではコイの泳ぐ池と、緑の木々に囲まれたシンボル・ゾーンができた。

ぼくは、真白な鉄筋四階建の校舎と、緑の芝に包まれた運動場の中に、いつも浮き上がっているシンボル・ゾーンに岩中生の意気があると思う。



市役所屋上から市内見学

小学校3年生になると、社会科で住んでいる町のことを勉強しています。鷹岡小学校の友だちは、市内で一番高い市役所から回りの様子を見ました。屋上からは、国道を走る自動車、工場のエントツ、住宅地、新

幹線、海、山が箱庭のように広がり、市内のことが一目でわかります。みんな市役所の屋上から市内を見るのは、はじめてで、学校や自分の家をさがしたり、市役所のおじさんの説明をいつしようけんめい聞いていました。



ぼくらのまち



富士第1小
6年
伊東安紀

窓をあけると、美しい富士山が目の前に見え、国道1号線がすぐそばを通っている。これがぼくの住んでいる本市場。

商店街や駅に近く、大きい病院もあるし、学校も近く、交通の便は良い。ただ悪いことは、空気のきたないことだ。春から夏にかけて、工場の煙がとてもひどいにおいを出す。白い粉もとんでくる。だから、ぜん息になる人が多く、ぼくも3才ぐらいまでゼイゼイいつて病院通いをした。また、国道の車のそう音も悪いことのひとつだ。交通事故もとても多い。

しかし、住む人の心は、なごやかで、まとまりのよい町だ。毎年、5月には、子ども会と婦人会と合同で、富士川堤防で運動会をやる。7月は天王さんの祭りで、みこしをかつぐ。夏休みには、海水浴に行く。秋には、遠足で、おでん大会をやったりする。クリスマスには、もちつき大会やおしるこ大会もやる。こんな時はいつもおとなの人たちが、子どものため、いつしようけんめい世話して楽しませてくれる。こういうことは、ぼくたち町のほこりだと思う。

市内の小中学生徒数は？

小中学校の生徒数をみんな知ってるかい。「ものしりはかせ」はなんでも知っているぞ。小学生は男の子が9950人、女の子が9279人、合計19229人。中学生は男の子が4441人、女の子が4126人、合計8567人。みんなの仲間は全部で27796人、みんなよい子ばかりだよ。



※今回から「ものしりはかせ」が富士市のいろいろのことを紹介します。知りたいことがあつたら「市役所企画調整部広報課」へ。電話は51-0123 内線528